

# 「京都丹波地域少子化対策戦略会議(第3回)」

## の開催結果について

平成27年1月29日  
京都府南丹保健所  
福祉室

京都府南丹広域振興局では、地特性を踏まえた総合的かつ抜本的な少子化対策を提案することを目的として、京都丹波地域少子化対策戦略会議（以下「戦略会議」という。）を設置し、この度、下記のとおり第3回戦略会議を開催しましたので、その概要を御報告します。

### 記

#### 1 日時

平成26年12月8日(月) 午後6時から8時まで

#### 2 場所

京都府園部総合庁舎ABC会議室

#### 3 参加者

学識経験者、経済・農業・労働団体やNPO法人等の有識者、府民、行政で構成(別紙参照)

#### 4 内容

- (1) 「京都丹波地域におけるストップ少子化に向けた提言」(案)について
- (2) 意見交換(各委員発言)

#### 5 主な委員の発言

- (1) 「京都丹波地域におけるストップ少子化に向けた提言」(案)について
  - ・ 「教育の振興」に係る記載を充実させてほしい。
  - ・ 子育てサークルの活動等で足りない施策を実施するため、事業をデータベースにより一元化する必要がある。
  - ・ 学童保育の必要性、子育て支援に関する課題の記述を充実させてほしい。
  - ・ 婚活については婚活教室や婚活大学などのように継続的に行う必要がある。
  - ・ この地域に多くある中小企業の情報を、インターネット等を活用し学生等に発信していくことが大切である。
  - ・ 将来、福祉分野は人手不足で成り立たなくなるので、「準保育士」などの新しい専門資格の創出が必要である。
  - ・ 中学生と赤ちゃんとのおふれあい事業や、中学生、高校生が保育所で子育て体験できる取組が大切である。
- (2) その他意見
  - ・ 高齢者が地域の公共交通機関を無料で利用できる助成が必要である。
  - ・ 集客施設誘致にあたり商店街や既存の個人経営者への配慮も必要である。
  - ・ 半農半Xで生活できる場所、新規農業従事者への所得保障の充実が必要である。
  - ・ 学校教育においても、観光甲子園などの地域に密着した取組を行うことで好循環が生まれる。

京都丹波地域戦略会議（第3回）

【委員:15名】

氏名	所属等	備考	出欠
井内 邦典	亀岡あゆみ保育園 園長	民間保育園	○
今川 晃	同志社大学 政策学部長	大学・教育機関	○
今西 仲雄	京都府南丹広域振興局 局長	行政	○
大川 倫正	京都丹波に転入してきた子育て世帯	転入世帯	○
栗山 正隆 (小川 泉)	亀岡市長 (代理: 亀岡市 健康福祉部長)	行政	○
佐々木 稔納 (松田 清孝)	南丹市 市長 (代理: 南丹市 副市長)	行政	○
塩貝 泰彦	京都産業大学法学部 4回生	若者(学生)	○
田中 美賀子	(特非) 亀岡子育てネットワーク 理事長	子育て支援サークル	○
寺尾 豊爾 (畠中 源一)	京丹波町 町長 (代理: 京丹波町 副町長)	行政	○
西村 紗矢香	京都丹波・写ガール隊(京丹波町職員)	若者(就労者)	○
長谷川 清隆	京都府立須知高等学校 校長	教育	○
俣野 健二	連合京都亀岡地区協議会 代表	労働関係団体	○
眞継 公哉	J A 京都青壮年農業経営者クラブ 会長	農林団体	欠席
吉田 辰男	世木地域振興会 副会長	地域振興団体	○
和久田 勝之	京丹波町商工会青年部 部長	経済団体	○

(五十音順)

《京都丹波地域少子化対策戦略会議(第3回)の様子》

